

令和8年度 計画変更

土地改良事業計画概要書

農地整備事業（畑地帯担い手支援型） 豊 富 南 部 地 区

第1章 目 的

「豊富南部」地区は山梨県中央市旧豊富村に位置し、営農形態は笛吹川流域の低平地の水田地帯と丘陵地帯の畑地帯に分けられ、水田地帯では水稻のみならず裏作にスイートコーン等の野菜類が栽培され、丘陵地帯ではもも等の果樹やスイートコーン等の野菜が栽培されている。本地区は全域が国営かんがい排水事業笛吹川沿岸地区の受益となっており、笛吹川沿岸地区の用水を活用した高収益・高生産の複合経営が展開されている。

本地区周辺は、平成14年から実施された中山間地域総合整備事業等により整備されているが、谷内田や急勾配の丘陵地など条件不利地は整備が遅れ、小区画・不整形など営農環境の悪い農地が点在している。また、農地の背後に山林があることから獣害被害も深刻化し、営農意欲を失いつつある。これらの理由や後継者不足も影響して耕作放棄地が増加している。

今後さらに高収益作物の生産を推進していくため、営農形態が同じであり、主要地方道甲府中央右左（うば）口（くち）線やシルクラインを利用しJAふえふきに出荷する範囲である旧豊富村南東部エリアを対象に、排水路整備や区画整理等の生産基盤整備を行う。区画整理により集積・集約化を図り、笛吹川沿岸地区の用水を活用したもも等の果樹や野菜の複合経営を拡大して、JAふえふきへの系統出荷や年間を通した「道の駅とよとみ」への直売品の出荷を促進する。さらには、休耕地となっている水田の畑利用等により有機野菜の地域ブランド化を目指し、中間管理機構を利用した新規就農者や農業生産法人等新たな担い手への農地集積も併せて進めていく。

第2章 地区の所在及び現況

1. 地域の所在

山梨県中央市関原地内他

2. 現況及び地目別地積

(単位：ha)

種別		地目								
		田	畑	樹園地	休耕地	小計	山林原野	道水路	その他	計
農地整備事業（畑地帯担い手支援型）	中央市	3.7	18.5	8.5	0.0	30.7	0.0	0.0	1.3	32.0
	計	3.7	18.5	8.5	0.0	30.7	0.0	0.0	1.3	32.0

第3章 基本計画

1 事業の種類び受益面積

(単位：ha)

事業の種類	事業の種類の詳細	受益面積	摘要
基幹事業	用排水施設	(18.0)	
		18.9	
基幹事業	農道	(6.3)	
		4.6	
基幹事業	区画整理	(15.8)	
		8.5	
基幹事業	鳥獣害防止施設	(33.8)	
		32	
計		(33.8) 32	重複除く

上段：当初計画

下段：変更計画

2 各事業別の主要工事計画の概要

(1) 用排水施設

路線名	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	農地整備事業		計				
用排水路1号	(1.2)		(1.2)	0.165	(0.17) 0.167	二次製品	
	1.2		1.2				
用排水路2号	(3.7)		(3.7)	0.281	(0.67) 0.616	二次製品	
	3.7		3.7				
用排水路3号	(4.0)		(4.0)	0.224	(0.59) 0.582	二次製品	
	4.0		4.0				
用排水路4号	(1.5)		(1.5)	0.162	(0.28) 0.255	二次製品	
	1.5		1.5				
用排水路5号	(1.3)		(1.3)	0.117	(0.19) 0.187	二次製品	
	3.2		3.2				
用排水路6号	(0.0)		(0.0)	0.81	(0.00) 0.750	二次製品	追加
	7.2		7.2				

上段：当初計画

下段：変更計画

(2) 農道

路線名 \ 項目	全幅 (有効) × 延長 (m)	構造	備考
農道 1 号	4.0 (3.5) × (640)	アスファルト舗装	廃止
	4.0 (3.5) × 0		
農道 2 号	4.0 (3.5) × (0)	アスファルト舗装	追加
	4.0 (3.5) × 540		

上段：当初計画
下段：変更計画

(3) 区画整理

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (m)	備考
換地計画による	(15.8)	(15.8)	(100.0)	—	
	8.5	8.5	100.0	—	

上段：当初計画
下段：変更計画

(4) 鳥獣害防止施設

路線名 \ 項目	全幅 (有効) × 延長 (m)	構造	備考
	H=2.3m×L=4,400m	電気柵	
	H=2.3m×L=4,366m		

上段：当初計画
下段：変更計画

第4章 工事又は管理の要領

1 工期

【当初計画】：平成29年度～令和7年度（9年）

【変更計画】：平成29年度～令和9年度（11年）

2 施設の予定管理者

施設名称	種類	規格等	施設の予定管理者
用排水路	水路	—	中央市
農道	道路	—	中央市
区画整理	区画	—	地元農家
	道路	—	中央市
	水路	—	中央市
鳥獣害防止施設	鳥獣害防止柵	—	中央市

第5章 換地計画の概要

1. 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の換地計画は、農地の改良、開発、保全及び農地の集団化を目的とすると共に、用途、地積、等位その他の自然条件を総合的に勘案し、従前の土地に照応するように定める物とする。

2. 換地区の設定

(1) 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地工区の所在	面積(ha)
1 工区	中央市関原地内	(8.5) 8.5
2 工区	中央市関原地内	(7.3) 0.0

上段：当初計画

下段：変更計画

第6章 費用の概算

【当初計画】 641,100千円 (事務費除く)

【変更計画】 992,000千円 (事務費除く)

※上記事業費は、物価の変動による増減又は地区採択事業費の増減（施行地域の変更及び土地改良法施行規則第38条の2に規定する事項に係る事業費の増減並びに概算事業費の100分の10を超える場合を除く）により修正する場合もある

第7章 効 用

【当初計画】 総費用総便益費：1.53

【変更計画】 総費用総便益費：1.39

(千円)

効果項目	年効果額		備考
	当初計画	変更計画	
食料の安定供給の確保に関する効果	33,420	44,653	作物生産・品質向上
農業の持続的発展に関する効果	20,515	23,780	営農経費・維持管理・走行経費
多面的機能の発揮に関する効果	818	930	一般交通等経費
その他効果	8,248	3,844	国産作物安定供給
計	63,001	73,207	

第8章 他事業との関連

該当なし

第9章 計画概要図

① 計 画 平 面 図 } 別 添